



筑北小学校だより

令和3年8月20日

No. 6

校長 久保田雅樹

2学期がスタートします。登校日数は86日です。2学期は、運動会、長野見学、乗り物遠足、修学旅行、ふるさとふれあいの集いなど、たくさんの行事が計画されています。感染症対策が欠かせない状況の続く中ですが、各学年ともその行事を節目にしながら、子どもたちにどんな力をどのようにつけていくのか考え、計画的に学習を進めていきます。



▲3年生のひまわり 休み中に3mを超えました！

ご家庭や地域の皆様にもお願いすることも1学期以上に多くなると思いますが、ご理解ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

◆2学期始業式の校長講話より

全校のみなさん、おはようございます。今日から2学期が始まります。休み中から新型コロナウイルスがまた流行していますが、大きな病気や事故・けがなどの連絡がなく、今日のスタートを迎えることができ、とてもうれしく思います。皆さん一人ひとりが健康や安全に気をつけて生活してくれたからですね。ありがとうございます。

さて、今年の夏休みは、東京オリンピックがありましたね。終業式の日にお話したバドミントン選手の奥原希望さんも、準々決勝で敗れはしたものの、最後まであきらめない全力のプレーを見せてくれました。他の競技でも日本選手の活躍がたくさんありましたが、今回のオリンピックで特に注目を集めたのは、同じスポーツに打ちこむ選手同士の、国を超えてたたえ合う姿や友情だったように思います。

スケートボードでは、ひとりの選手が競技を終えるたびに他の選手が駆け寄って健闘をたたえ合う姿がありました。大技に挑戦して転んでしまった日本の岡本選手が戻ってくると、各国の選手が待ち受けていて、歓声を上げながら肩車をして、その挑戦をたたえる姿が印象的でした。ソフトボールでは、決勝で日本に敗れたアメリカのアボット投手が、上野投手の手を取って「おめでとう。あなたとの勝負は楽しかった。」と語ったといひます。アボット投手はそのことについて、あとでこう言っています。「人には気持ちのつながりが必要でしょ？ソフトボールはお互いをつなぐ共通語よ。」と。

私たちも、自分の目標に向かって頑張っているとき、同じように頑張っている友だちや支えてくれている周りの人への思いやりや感謝の気持ちを忘れないようにしたいものです。運動会をはじめとする色々な行事やふだんの生活の中で、そんな思いやりや感謝を、言葉や行動で表していけるといいですね。



◆ポール先生とお別れ

英語の授業でお世話になった聖南中学校 A L T のポール・チャベズ先生が、1 学期末で2 年間の任期を終え、アメリカに帰国されました。ポール先生は毎週水曜日に小学校に来てくださり、英語の授業だけでなく、児童の皆さんと休み時間に遊んだり清掃で一緒に汗を流したりと、とてもフレンドリーな方でした。帰国後は体育の先生として地元の学校にお勤めになるそうです。ポール先生の今後の益々のご活躍をお祈りいたします。

なお、後任の A L T の先生は、2 学期の途中から来られる予定です。



◆夏休みの学校で..

夏休み中の校舎内外で、様々な施設設備を新しくしたりきれいにしていただきました。



柱や手すり（木部）の塗装をする業者の方



電子黒板用のプロジェクターを各教室に設置



校舎内の照明のLED化



花壇の草をとる待井先生

この他に、体育館の外壁改修やフロアワックスがけ、校舎窓のクリーニング、給食室の消毒、エアコンクリーニングなどもしていただきました。2 学期も快適な環境で学習をすることができます。猛暑の中、作業をしてくださった方々に感謝して、大切にしていきたいと思います。

2 学期が始まる今日から来週いっぱいまでは、全校で集まる行事や外部との交流などは行わないようにします。（今日の始業式も放送で行いました。）また、これまで同様、レベルに応じて感染予防に努めてまいります。各ご家庭でも引き続き予防や健康観察をお願いします。ご心配な点などがありましたら、その都度学校までご連絡ください。